

君待つと一萬葉・古今・新古今 夏草―「おくのほろ道」から

新出漢字 教科書に登場する漢字の読み
三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

												荘	緒		
												ソウ	おシヨ チヨ		
												荘	緒		
												荘	緒		
												一	く		
			⑬ 柳 の木陰 ()	⑫ 娘 が布を洗う ()	⑪ 手織り の布 ()	⑩ 高く 貴い 富士の高嶺 ()	⑨ あなたを 恋しく 思う ()	⑧ 月が西に 傾く ()	⑦ 後ろを 振り返る ()	⑥ 真っ白な 衣が干 されている ()	⑤ 新古今 和歌集 ()	④ 古今 和歌集 ()	③ 万葉集 ()	② 富士山麓 にある 別荘 ()	① 下駄の 鼻緒を 上げる ()

君待つと—万葉・古今・新古今 夏草—「おくのほろ道」から
教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 下駄の はな お <small>を</small> すげる ()	()
② 富士山麓にある べっ そう ()	()
③ まん ようしゅう ()	()
④ こ きん <small>和歌集</small> ()	()
⑤ しん こきん <small>和歌集</small> ()	()
⑥ 真 <small>ま</small> っ白 <small>しろ</small> な <small>しろ</small> もが干 <small>ぬ</small> されている ()	()
⑦ 後ろを ふり 返る ()	()
⑧ 月が西に かた むく ()	()
⑨ あなたを こ いしく思う ()	()
⑩ 高く <small>たか</small> とう <small>とう</small> とい <small>富士の高嶺</small> ()	()
⑪ て おりの布 ()	()
⑫ む すめ <small>が布を洗う</small> ()	()
⑬ や なぎの木陰 ()	()
□ し よせん <small>から優勢が続く</small> ()	()
□ し よせん <small>で敗退した</small> ()	()
□ じ ょうちよ <small>豊かな町並み</small> ()	()